

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリスキッズぱらす			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お客様のニーズに合わせて、フレキシブルに対応を変えられる事ができる。個別療育、小集団療育のどちらも実施している事でもあり、多角的な関わりを持つことができています。	年間で小集団における活動プログラムを作成しておくことで、幅広い経験となるようにしている。また、個別療育においては、それぞれの個別化した課題選定をしている。	小集団の中で個別化の対応を充実させ、より大きな集団でも活躍できるような支援を検討していきたい。
2	その日の良かったところ、反省点をすぐに次の利用時に活かせるように対応している。	利用クラス毎に振り返りを実施し、共通認識を図りながら記録に残すようにしている。また、ご利用前には記録、支援計画をスタッフそれぞれ意識するように働きかけている。	共通認識、共通言語を増やしチームとして対応していくことで、支援におけるPDCAサイクルを実施していく。
3	目の前の課題と向かいつつ、進級や進学も視野に入れながら対応方法を考えることができている。	アセスメント会議の際には、課題に対する対応だけでなく、本児の持つ強みも含めて検討するようにしている。その際、小集団だけではなく、大きな集団、社会生活も踏まえて検討するようにしている。	実際の集団の場面となる、幼稚園、保育園、小学校への見学を実施していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	それぞれの課題解決までに短期でできる事と長期間かかるものがある。	より課題にフォーカスした対応方法が見いだしにくい事がある。	様々な研修へ積極的に参加し、スタッフそれぞれのスキルを磨いていきたい。
2	幼稚園や保育園、地域との関わる機会が少ない。	見学は随時受け付けていますが、ご利用時間に限りがあることでなかなか地域行事等の参加が難しい。	まずは、併設している自社の保育園と交流、連携の機会を多く持っていきたい。
3	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や保護者間での交流の機会を作ることができていない。	家族支援プログラム体制が整えられていない。その為、個別の相談や助言を行っている。	親子で参加できる行事や保護者のニーズに合わせた対応を検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クオリスキッズぶらす

公表日 2025年4月30日

利用児童数 31名 回収数 21名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	3	0	1	・お部屋は問題ないと思います。玄関からお部屋までの造りが見通しが立たず中々入れないのが、しばらく続いた。階段のためバリアフリーではない。（建物の構造の問題） ・活動スペースまで階段のためバリアフリー化はしていないように感じます。	玄関から階段に向けては、壁面に案内を貼り、入りやすい環境整備には努めておりますが、慣れるまでに時間がかかってしまう方もおり、その都度お子様に合わせて対応しています。 エレベーターを完備しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	0	・空間内の声のひびきが強すぎます。	あえて生活空間へは何も置かないようにしているため、音の反響が大きい場合があります。過敏になっているお子様にはその都度必要な対応しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	1	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	3	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	1	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	4	7		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	4	3	研修会などはないが、面談でしっかり時間を取ってくれる。フィードバックも毎回手厚く安心。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	1	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	4	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	4	4	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	3	1	0	・1年かかりましたが安心して通えるようになりました。 ・波はありますが、信頼を持っているように思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	4	2	1	・気持ちの切り替えができず、行く前は嫌がりますが、終わると「楽しかった」と言っています。 ・苦手をさけたい子なので、事務所ではなく本人の問題 ・苦手を克服するというのは時に本人にはつらいので楽しみでないのは仕方ないと思いますし、それをのりこえるところまで支援と思って通っています。	できるだけ前向きな気持ちで通所できるよう、支援の在り方、関わり方、支援内容等日々努力させていたできます。より楽しく通うことができるようなプログラムをご提供できるよう改善していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	3	0	0	・こちらに通わせて良かったと心から思います。ありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。	より満足していただけるように、日々努力を重ねてまいりたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
クオリスキッズがらす		2025年4月30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1日3クラスに分かれているので、1クラスあたりでの利用するスペースは十分に確保できている。	自由遊びの時に、静かに遊びたいお子さんと、動いて遊びたいお子さんがいるので常に配慮が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	配置数は適切であるが、スタッフ間で声を掛け合いながら動くようにしている。	もう1人職員の数が増えると活動の幅も広がると考えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	全体へのスケジュール提示。個別でのスケジュール提示、個別での構造化は分けて対応している。 エレベーターを完備しており、対応は可能である。	見通しの良い環境は意識している。現状ご利用のお子様は問題ないと思われるが、広い空間が苦手なお子様が来た場合は、環境整備を考えていく必要はあると思われる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動に合わせて机の配置を変えており、お子様に合わせて椅子と机の高さを変えている。	お子様に合わせて椅子や机を変更することで、移動や入れ替えに時間がかかってしまう時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	適宜バーテーションや相談室を利用して対応している。	個室への移動を嫌がるお子さんの場合、バーテーションを利用しており、状況によっては他の児童の気になる対象になってしまう場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	朝礼、クラス毎の振り返りを実施している。また、基本的には全員参加でアセスメント会議を実施している。年度末には、年間の振り返り、次年度へ向けて活動の話し合いを設けるようにしている。	意見を出しやすい環境を整備したい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価実施後はスタッフ間で情報共有している。	できる事はすぐに変更しているが、定着に時間がかかるものもある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	常にコミュニケーションを取れる環境を作っている。また、振り返り等では、お子様の対応だけでなく、業務に関しても振り返りを行っている。	日々の業務に追われ、現状維持が目標になってしまいがち。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	現在、第三者評価は実施していない。しかし親会社の内部監査室による業務プロセスの評価等は実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内研修の機会が確保されている。	日によっては職員不足で参加できない事がある。自発的に研修を希望するスタッフが増えるよう働きかけを行なう。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	株式会社クオリスのホームページに公表している。	これまで実施してきたことを基に支援プログラムを作成しており、今後もブラッシュアップが必要である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者には支援のご要望等を紙面に記入をお願いしている。保護者のニーズとアセスメントシートを活用しながらアセスメント会議を実施したうえで、個別支援計画を作成している。	ニーズや課題に対して専門職の意見が反映されるよう工夫していきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	基本的には全員参加で、アセスメント会議を行っている。その際、振り返りを実施しつつ事例検討等も行っている。	幅広くとらえつつ、ポイントを抑えて考えるスキルはスタッフ間で差が出ないように心掛ける。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	作成後は必ずスタッフ間で回覧し、常に意識できるよう業務日誌にも反映させている。	概ねできているが、計画が変わったタイミングでの切り替えにスタッフが戸惑わないよう丁寧に説明する必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	年1回、モニタリング時期にアセスメントシートを記入している。 日々の行動観察においては、支援日誌を充実させている。	何か強化したいことや課題が出てくると、そこにフォーカスが当たりすぎてしまうことがあるため、全体をとらえながらもポイントを押さえる支援スキルを研鑽していきたい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	アセスメント会議の際には必ず、本人支援、家族支援移行支援も踏まえて話し合うようにしている。	地域連携に関しては、地域とのかかわりの幅を広げていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月活動案会議を実施している。	クラスの段階に合わせた、柔軟な発想力を磨いていく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	年間でテーマを決め、それに沿って活動案会議を実施している。個別課題については、それぞれのニーズや段階、その時々々の課題にあわせて変化できるように振り返りを実施している。	その月のテーマによっては、プログラムの提案が難しく偏ってしまうことがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	その時々々の段階に合わせて必要な事を反映させている。	集団活動の中にも個別化の視点を取り入れた活動作りをしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼で、業務日誌、支援計画で役割を確認している。	チーム連携の意識に個人差がうまれないよう強化していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	利用毎に振り返りを実施し、共有内容を記録へも反映させている。	ポイントを押さえた振り返り、効率的・効果的な振り返りとなるようなチームづくりをしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	利用毎の支援記録の記入。また支援に入る前にはできるだけ、前回の様子を読んでから現場に入るようにしている。	わかりやすい記入や、日々の様子に対する検証を研鑽していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	振り返りの時間には、個別支援計画の内容も話し合っており、適宜対応方法を変えており、記録に残すようにしている。	成長に合わせた対応方法の見直しへの意識を持てるようになる。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	指導員にも意見を聞き、児童発達管理責任者が対応している。	関係機関との会議へも積極的に参加していきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	適宜見学等の受け入れを実施している。	関係機関と連携を図れる機会を、事業所発信での実施も検討していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併行通園先や地域の関係機関からの見学を積極的に受け入れている。担当者間での支援内容についてのやりとりも電話対応も含め対応している。	関係機関への訪問等も行っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学支援シートの記入等、適宜必要書類の作成を行っている。	学校見学や小学校との連携を強化していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			適宜連絡を取り合っている。	助言等を受ける機会を増やすため、連携強化を図っていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	67%	33%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	保育園を併設しており、行事等参加している。	自社園との交流を増やし、それ以外園とも関わる機会を設けていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	フィードバックの時や面談時に、ご家庭での困りごとなどを共有しながら共通理解を深めるようにしている。	面談以外にも気軽に相談やお話ができる機会を設けていきたい。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		ご家族の参加できるプログラムや発信方法を考えていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学、契約時に必ずお伝えしている。	分かりやすく、具体的にお伝えできるように工夫してく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	アセスメントシートに希望を記入してもらい、ご希望を反映させた計画を作成し面談時に確認するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ず読み合わせ、説明を行ってから同意を得たうえで、サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	適宜、電話対応も踏まえ行っている。	保護者が、相談しやすい環境を整えていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者参加の行事や交流できる機会を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談内容に合わせて速やかに対応している。職員間での情報共有も内容に合わせて対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	年度初めに、年間プログラムを配布している。玄関先に活動の様子を写真で掲示している。	月毎にわかりやすい掲示方法を検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	適宜、個人情報の扱い方を周知統一している。	研修等を通して、スタッフ間での認識の統一を行っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	予定表だけでなく、必要に応じて書面でお知らせを出したり電話、メールでも対応を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		ご要望に応じて検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	保護者へはご契約時にご説明させていただいている。また、定期的に避難訓練も実施している。	ご契約時だけでなく、周知できるよう工夫していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	併設している保育園と一緒に地震、火災、不審者等想定を変えながら訓練を実施している。	各職員が状況に応じて対応できる避難訓練を実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	通所開始前に、聞き取りを行っている。	対象の児童がご利用したときの為に、てんかんに関する研修等をおこなってきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食事提供はしていないが、適宜対応できるように把握はしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画に基づいて訓練、研修を実施している。	外部研修への参加を増やしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	ご契約時にご説明させていただいている。	より分かりやすい周知方法を検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットは必ず回覧し、朝礼等で確認、共有している。	定期的にヒヤリハットの確認しながら、事例検討を行い安全に努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	利用毎の振り返りの時間に対応方法も話し合うようにしている。	対応の仕方、目的の共通認識を深めつつ、スタッフが意見を言いやすい環境づくりをしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	重要事項説明書を元にご契約時に説明を行っている。個別支援計画に記載している。	職員間で認識が薄れない様定期的に確認していく。